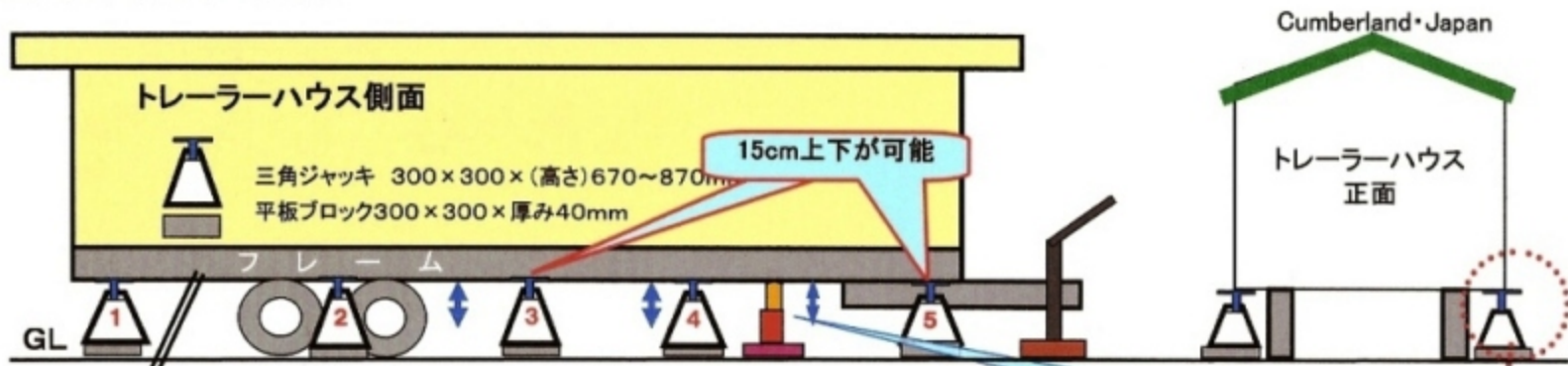


ジャッキの取付け・取外し



設置: 三角ジャッキによる設置と水平レベル調整

- 1、トレーラーハウス下、及びジャッキ下は良く転圧し沈まないようにする。
- 2、設置方法は、良く転圧された砂利等以上の上に平板ブロックを置きその上に三角ジャッキを乗せレベルを合わせる。
- 3、レベル出しは三角ジャッキの上部を上下させて調整できる(油圧ジャッキ等を使うと容易にできる。)
- 4、長手方向(10m)フレームに5箇所以上(2m間隔1基程度)の三角ジャッキを使用する(全長10mトレーラー1台当たり10基以上)にて設置する。

搬出: 三角ジャッキをとり外し移動する(緊急時)

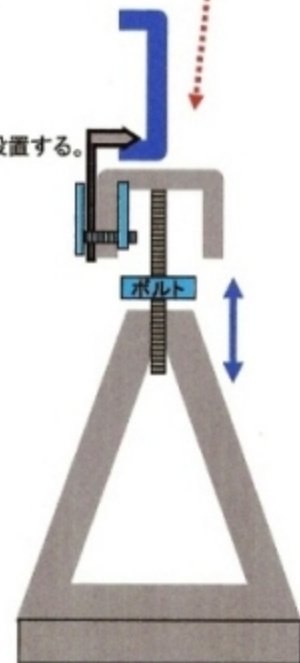
- 1、三角ジャッキの頭部分を下げジャッキを外す(油圧ジャッキ等によりシャーシを上げると早い)
- 2、同様に各所の三角ジャッキを外す。
- 3、平板ブロック等を移動の邪魔にならない場所に移す。

* 油圧ジャッキを利用する場合。
三角ジャッキを外し油圧ジャッキを下げるとトレーラーハウス本体が傾きますので、周囲に人のいない事を確認して下さい。

大型バスが駐車場に停車して、それをジャッキで支えるような考え方です。
トレーラーハウスは、一般的に2軸(4輪)又は3軸(6輪)によるタイヤとシャーシにおいて支えられ、移動できます。このトレーラーハウスをヒッチにある軸と、十数基のジャッキにおいて前後左右を支え水平を保つ考え方です。(アウトリガー)

- * タイヤは常時トレーラーハウスを動かせる状態を保つ。
- * 沖縄県等、強風地域での安全策

地中30cm以上にアンカーを入れ帯ベルト等により固定することが望ましい。
帯ベルトは調整式のワンタッチ取外し式を使用する。



(垂直加重3000kg耐久)

* 随時かつ任意に移動できるためのシステムです。